

研究課題名	V-A ECMO 管理患者における最適造影 CT 撮影プロトコルの後方的検討
研究期間	実施許可日 ~ 2030年3月31日
研究の対象	2010年4月から2028年3月の間に、広島大学病院、県立広島大学病院にてVA-ECMO管理下で造影CT検査を行った患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：体外式膜型人工心肺（extracorporeal membrane oxygenation: ECMO）は呼吸や循環を補助する装置です。その一種であるV-A ECMOは血液を静脈から取り出し、動脈に戻します。通常と血液の流れが異なっているため、造影CT検査において造影効果が乏しい場合があります。本研究では過去画像から造影効果に関わる因子を調べ、十分な造影効果を得られるよう検討します。</p> <p>研究の方法：本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	カルテから使用する内容は身長、体重、性別、年齢、V-A ECMOの設定値、心拍数、経過記録、臨床診断、CTの画像データです。
外部への試料・情報の提供	広島大学病院と県立広島病院間でデータを共有し、解析を行います。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2028年3月31日） （県立広島病院における実施許可日2026年6月1日）
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。個人と連結させるための対応表は、研究責任者監督のもと、保管・管理します。
研究組織	<p>本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療学 教授 志馬 伸朗 本学研究機関長 広島大学理事 田中 純子</p> <p>研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療学 教授 志馬 伸朗</p> <p>共同研究機関の研究責任者 広島県立病院機構県立広島病院 救急科主任部長 世良 俊樹</p>

	<p>共同研究機関長 広島県立病院機構県立広島病院 院長 板本 敏行</p>
<p>その他</p>	
<p>研究への利用を辞退する 場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8530 広島市南区宇品神田一丁目5-54 Tel : 082-254-1818 県立広島病院 放射線診断科 診療放射線技師 稲田 智</p>